

# 血液検査

皆さんの血液から、体の状態を調べる検査です。臓器の状態や赤血球・白血球の数などを調べることで貧血や糖代謝などの状態、感染症などを調べています。

## 血液検査で分かること

血液検査は、**体の状態を知るための有効な手段の一つ**です。肝臓、腎臓、心臓、甲状腺などの臓器の状態や赤血球・白血球・血小板の数を調べる検査などで、貧血や糖尿病、感染症、炎症などを把握することができます。

ただし、血液検査の基準となる値は、多く健康な人の検査結果から得られたもので、健康な人の95%が当てはまる数値と理解してください。健康な人でも、人種、年齢、性別、生活習慣など、数多くの理由で異なることがあり、**基準値から外れているからといって、すぐさま異常というわけではありません。**

また、どんな検査の値を調べるかは、診察した医師が事前に決める(健診の場合は、その健診の種類やご希望によって決まる)ため、血液検査をしたからといって、**全ての病気がわかるわけではありません。**そのため、体の具合で気になることがあれば、血液検査の前に必ず医師に相談をするようにしてくださいね。

### 院長の認知症コラム COLUMN 「認知症と血液検査」

血液検査においても技術革新が年々進んでおり、最近では血液検査だけで認知症の前段階である軽度認知障害の兆候を早期に発見できるようになりました。まだまだ高価な検査のため、手軽に実施できるとい段階ではありませんが、専門医療機関へご紹介したりご対応を相談させていただくこともできます。

### 血液検査で分かる主な内容

- **ヘモグロビン(Hb)**  
赤血球に含まれるたんぱく質の一種。少なすぎる場合は貧血が疑われます。
- **炎症反応(CRP)**  
数値が高い場合は、細菌やウイルスなどの感染症、炎症を伴う様々な疾患を疑います。
- **血糖値**  
数値が高い場合は、糖尿病や膵臓の障害が疑われます。
- **HDLコレステロール**  
善玉コレステロール。少ないと動脈硬化の危険性が高くなります。
- **LDLコレステロール**  
悪玉コレステロール。多すぎると心筋梗塞や脳梗塞の危険性が高くなります。
- **中性脂肪(TG)**  
糖質・脂質・アルコールなどの取りすぎで高くなり、動脈硬化を進行させます。
- **AST(GOT)とALT(GPT)**  
数値が高い場合は、肝臓の障害を疑います。

公益社団法人日本人間ドッグ学会のホームページを参考に作成  
基準となる数値などはホームページをご覧ください

BLOOD  
TEST